

事業所理念		子どもの生き抜く力を育み、誰もが人格と個性を尊重し合い、安心・安全に過ごしながらコミュニケーション能力の向上や社会性の大切さを伝えていきます。		
支援方針		子どもの発達過程や障がい種別、障がい特性を理解して、子どもが他者との信頼関係の形成を経験したり、基本的日常生活動作や自立生活を支援していきます。また、他児と共に過ごすことの心地よさや楽しさを味わうことで、人と関わることへの関心が育ち、コミュニケーションをとることの楽しさを感じることができるような支援を目指します。		
営業時間		平日 授業日 8時30分～18時05分 長期休業日 8時30分～17時15分	送迎実施の有無	学校への送迎あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	・来所時や送迎時の子どもの様子を把握し共有します。 ・自分で考えて選択できる力をつけていきます。		
	運動・感覚	・小集団活動で室内でできる球技やアスレチックなどを行ったりすることで体の使い方を学びます。 ・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます。		
	認知・行動	・タイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。 ・小集団での楽しい遊びや関わりの中で、自分や他者の気持ちを知り、友好的に関われるように支援します。 ・季節の変化への趣味などの感性を育てていきます。 ・工作や調理活動により、完成をイメージしながら手順どおりに作る経験をしてもらいます。		
	言語・コミュニケーション	・小集団での協力ゲームで仲間意識を持ち、楽しさを味わってもらいます。 ・意思表示などを絵カードを使って視覚化した支援を行います。 ・異年齢の子との関わり方など幅広い交流の機会を経験してもらいます。		
	人間関係・社会性	・子どもとの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 ・集団活動を通じて、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を学んでもらいます。		
家族支援		・ホームから学校へお迎えに行きます。 ・ホームでの様子を保護者に伝え、必要がある場合には、時間を取って話を聞く機会を設定します。		
移行支援		・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・相談支援専門員や他関連機関との連携を図り、支援体制を構築します。		
地域支援・地域連携		・地域の方々を講師に招いて、地域交流（工作教室、音楽遊び、水引細工教室など）を実施します。 ・学校や福祉サービスなどと連絡を取ったり、支援会議などを行って情報共有していきます。		
職員の質の向上		・外部研修や職員会での研修を年2回以上行い、障がい種別や障がい特性に応じた支援や発達段階に応じた支援、家族支援などに係る適切な知識・技術の習得していきます。		
主な行事等		・夏祭り、ハロウィン、クリスマス、正月など季節に応じてゲームや工作等を実施します。 ・屋外活動（公園や公民館など公共施設の利用、コンビニ等への買い物）を実施します。		